議会意太

130 平成29年(2017年)11月1日 編集:議会だより編集委員会 発行:三 浦 市 **T**238-0298

神奈川県三浦市城山町1番1号

☎ 046(882)1111内線462·463

第3回定例会

〈議会だより第130号の内容〉

定例会の経過と概要……… 1面 決算審查特別委員会…… 1~2面 常任委員会 … 2 面

陳情の審査……… 7面

人事…… 7面 本会議における討論……… 7面 議会報告会 · · · · · 8 面 次回定例会の予定…… 8面 議案等の審議結果…… 8面 編集委員コラム …… 8面

平成二十九年第三回 定例会は、 月十一日から

今定例会では、 議案の審議を行いました。 日までの十九日間を会期として開かれました。 平成二十八年度決算を初めとする、 「北朝鮮の核実験に抗議する決

(記事七面 定例会初日には、 | を全会||致で可決し、

三浦を守る地域のカ~三浦市消防回

10月に行われた消防操法競技大会の様子

定例会の経過と概要

月日	曜日	会	議	名	内容						
9月11日	月	本会議			会期の決定、決議案、一般質問						
12⊟	火	本会議			一般質問						
13⊟	水	本会議			一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)						
14⊟	木	総務経済	斉常任	委員会	議案・陳情の審査						
15⊟	金	都市厚生	上常任	委員会	議案・陳情の審査						
20⊟	水										
21⊟	木				議案の審査						
22日	金	決算審査	查特別	委員会							
25⊟	月										
26⊟	火										
29日	金	本会議			議案の審議(総務経済・都市厚生・決算審査の 各委員長報告・討論・採決)、追加議案の審議、 人事案件(教育委員会委員、公平委員会委員、 固定資産評価員)、閉会中継続審査申し出、議 員派遣について、報告						

関係機関に送付しました。

特 決

託され、五日間にわたり審査されました。人の委員で構成する決算審査特別委員会に付及び企業会計(病院、水道)の決算議案は、八公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)

健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、平成二十八年度の一般会計、特別会計(国民

石橋むつみ 州 祖 眞 弓 藤田 寺田一樹 出口正雄 長島満理子

別委員会 奮 査

間道 治 昇

ていない。 で、歳入欠陥とは考え 取り組んだ。

目的に海業公社と連携

効果があった。 して取り組み、非常に

する感想を伺う。と述べていたことに対実りある年にしたい」

ていたことに対

質問 うらりマルシェ

||答弁|| 周辺の活性化を

化や農業者への効果に ついて、市長の見解は。 開設による、地域活性

しい財政状況だが

予算編成時に

八年度の成果

地域への効果

全般にわたり

減少した中、特にふる 組みをつくっているの 税に頼らない財政の仕 少したが、ふるさと納 さと納税の減収が大き 旨を逸脱することなく るさと納税の本来の趣 かったことについて、 に記念品を贈呈し、ふ 答弁 地元産品を中心 市長の考えは。 競争の激化により減

決 算審査特別委員会 ~議案の審査概要~

「三浦市議会だより」は再生紙を使用しています。

直販できる場所ができ

農業者にとっては、

たので、野菜のつくり

答弁 ごみ処理や消防の広域化での施設建設 など、事業が着実に進 んだと実感している。

ふるさと納税 くりができた。 財政環境の中でもやり

が広がったと思う。 方や販売方法などの幅

(その他の質疑項目)

観光振興の取り組 市債残高について

全体的に税収が

(2)



旧三崎中学校施設の貸 な要因について 市税収入が減少した主 し付けによる収入につ

息見 国家戦略特区 情報セキュリティ の改善について 活用 対

ち上げた三浦市として、 庁内で連携して検討を進 特区の指定を受けてどの ということだが、全国で は特段の成果がなかった めるべきである。 ような事業ができるか、 いち早く活用チームを立 チームは、二十八年度に

民生費

民生委員・児童委員の 欠員状況と充足するた 生活保護にかかわる状 めの課題について

況について

放課後児童クラブの環



防犯灯の維持管理につ の指導について 適正な農地造成のため の進捗状況について た最終処分場建設工事 ごみ処理広域化に向け 理由について 妊婦健康診査を行うた 賀市との連携について めの事業費が増加した 小児救急医療での横須

三崎漁港におけるグロ 種苗放流など、各漁協 実施状況について 戦略策定・推進事業の の取り組みについて バルブランディング

教育旅行誘致の成果に 取り組みについて みうら夜市での新たな 整備箇所について 観光案内板・ 解説板

ついて

三浦縦貫道路整備に向 7 けた事業の進捗につい

と今後の活用について みうら景観資産の認定 について 市道の維持補修の状況

消防の広域化に伴う資

機材等の整備について

施状況について 市の地域防災計画改定 露店などへの査察の実

教育費 いて に向けた検証作業につ

学校施設の 修繕状況

保険に切り離す制度自体

成果について 海洋教育の 取り組み みと

に向けた取り組みを求め できるように、三十年度 学用品費を前年度に支給 また、中学校での新入学 給額を国基準に戻し、支 援助制度については、支 給基準を拡大してほしい。 小中学生への就学

●災害復旧

況について

予備費

おける工事について

国民健康保険データへ

民の負担がふえたことで、 組み状況について

通しについて 後期高齢者医療制

ついて 排水処理計画の検討に

ルス計画に基づく取り 状況について 推進事業にお 下水道PPP・PFI ける検討

債償還事業第三セクター等改革推進

埋立事業に起因するもの 革推進債は無謀な二町谷 減少した理由について 土地の貸し付け収入が 第三セクター等改 本会計に反対す

・二十八年度の経営状況 病院事業

実施状況について について 訪問診療、 訪問看 護の

に問題があるため、 計に反対する。 本会

更新について ップ」の作成と情報の 「医療と介護 資源マ

介護認定を行う人員体

況について 介護予防活動 制について 実施状

市場関連施設の老朽化

・二十八年中に発生した 台風九号による被害状

南下浦市民センターに

会

国民健康保険事業 療養給付費が前年より 減少した要因について

かな対応をしてほしい。 いる。引き続き、きめ細 される例があると聞いて 医療機関への受診が抑制 国保税の改定で市

保険料の軽減特例に関 する経過と、今後の見

り立たない現状であり、 五. この見直しをすることは 度は軽減特例なしには成 題である。また、七十 歳以上の方を別の医療

議案の審査概要~

第二

案には賛成できない。

意見

制度が改正され、

委託料の内容

谷について 立支援事業の

する予算が計上された本

に反対であるため、関連

意見 マイナンバー制度

上された経緯について

を追加するものです。

(質疑の主

な項目)

案に反対する。

高齢者自

地方債の補正を行うもの 続費、債務負担行為及び

広域による、ごみの最 終処分場の建設コスト 河川維持管理事業にお 削減について

(質疑の主な項目)

する事務について、必要 空き家等に係る施策に関

整備事業で委託料が計

空き家に関する税

制

状況について

下水道課

人員体制に

今後の空き家対策につ

推進事業 内容や財

医療スタッフの確保に

学用

国民健康保険

反対の理由として、二十

○小林直樹副委員長より、

八年度に保険税で一億円

ることで、

市が責任を持

事業者へ運営権を設定す 検討されているが、民間 セッション方式の導入が 反対の理由として、コン

給水管の布設替えに対 する補助制度の検討状

 \Diamond

反対の理由として、

少した要因について

施設見学の来場者数に

公共下水道事業 三崎地区、初声地区の した理由について にかかる事業費が減少 終末処理場の維持管理

一般会計補正予算 ◎平成二十九年度三浦市

を追加するとともに、継 ぞれ三千四十二万一千円 本案は、歳入歳出それ

◎三浦市空家等対策協議

反対する。

ふえたことから、

◎平成二十

補正予算

(第一号)

本案は、本市における

を設置するものです。 な協議を行うための会議 協議会の構成について (質疑の主な項目)

ける負担金の減額につ 市民交流拠点

援助制度において、

と今後の見通しについ 水源施設増強費の残額

況について

質疑終了後は、

と修繕について

市場使用料の収入が減 ○小林直樹副委員長より 行われました。

討論が

就学

品費等の支給額が国基準

○長島満理子委員より、 賛成の理由として、 丈に合った事業や、歳入

要因について 有収水量率が上昇した

の二分の一であることは

求めることが述べられま 供たちが安心して教育を 受けられるよう、改善を 全ての子

り組み、教育環境の充実 安全な水産物の提供等の や消防力の強化、安心・ 歳出削減策に取 身 0)

公共下水道事業

等が述べられました。 積極的な推進をしたこと

払いなど、 述べられました。 度そのものに反対である 負担を押し付けたことが 差別するも 高齢者医療 反対の理由 ○小林直樹副委員長より、 の値上げを行い、市民に 後期高齢者医 年齢で医療を 制度は、包括 として、後期 療事業 のであり、制

ことが述べられました。

介護保険事

正予算(第

号

○小林直樹副委員長より、 等が述べられました。 地開発公社の借金を肩代 わりするものであること

事業が原因で解散した土 計が、無謀な二町谷埋立 反対の理由として、

本会

○小林直樹副委員長より、

ました。

第三セクター等改革推進

債償還事業

問であることが述べられ って事業を行えるのか疑

ぞれ二百四十六万三千円 ◎平成二十九年度三浦市 本案は、歳入歳出それ 業特別会計補 クが考えられるため、 式の導入は、長期にわた を任せることによるリス り民間事業者に市の業務 意見 コンセッション

委員会の活動から

て報告を求め、建設中の の高度衛生管理化につい 三崎水産物地方卸売市場 会後の委員協議会では、 総務経済常任委員会散



公共下水道事業特別会計 がることで市民の負担が 利用者負担額の上限が上 九年度三浦市 本案に 低温卸売場を視察しまし

ぞれ二千五百五十九万六 千円を追加するものです。 下水道PPP・PFI 本案は、歳入歳出それ 源構成につい での委託料の

(質疑の主な項目)

○地域で支える体制づくり	(無所属 下田 剛)3 面
○三浦の食と観光	(みうら市政会 長島満理子)3 面
○市民に身近な図書館に	(日本共産党 石橋むつみ)4 面
○防災・減災対策	(公明党 藤田 昇)4 面
○速やかな避難のために	(自由民主党 出口正雄)4 面
○公共施設の管理	(無所属 寺田一樹)5 面
○海水浴場の活用	(みうら市政会 出口眞琴)5 面
○駅弁をつくって観光振興を	(日本共産党 布川照美)5 面
○市民の安全対策の推進	(みうら市政会 神田眞弓)6 面
○公共施設の管理計画	(日本共産党 小林直樹)6 面
○ウッドデッキの活用	(みうら市政会 草間道治)6 面



守っていくことや、ネ めには、地域全体で見 症の方を支えていくた ない病気である。認知 起こり得る、遺伝性の 覚問 認知症は誰も

知症に関する三浦市で の施策と、今後どのよ かをお聞きしたい。 うな施策を考えている いくことが必要だと思 ットワークをつくって 現状においての、認

認知症家族のつどいの パス(本人や家族等が を実施している。 サポーター養成講座等 Sネットワーク事業や、 今後は、認知症ケア 徘徊高齢者等SO 地域での認知症

総務部長

宿泊型の

いたい。

討に向けた考え方を伺

行うことについて、

震お泊まり避難訓練を

市が主体で津波・地

相談機関や、受けられ 作成して、配布するこ やすく示したもの)を る支援内容等をわかり 認知症になった場合の

ている。

夜間に行う訓練であ

な課題であると認識し 難訓練の実現は、重要

解と協力が欠かせない 地域、施設管理者の理 るため、参加者の安全 訓練を実施する

泊型の訓練を実施した **************** と思っている。既に宿

保健福祉部長

現状で

ンタサイクルが事業化

xexexexexexexexex

児童・生徒に対して

は、事案によって全校 う、各校長に対して指 委員会に報告するよ | |教育部長|| |事案が起き したい。 示をしている。

行っているのかお聞き いるのか。 どのように把握をして 動が起こった場合は、 で暴力行為等の問題行 心のケアをどのように 学校での対応は 質問 市内の小中学校 また、児童・生徒

施に向けた検討をして している。



防災訓練の様子

とが起こらないように、

三浦市でも同様のこ

満理子 みうら市政会 長島

られるが、どうか。

市長 三浦の食は市を

は全国瞬時警報システ

その際、対象地域で

ム (Jアラート) によ

質問

地震や集中豪雨

発信や消費誘導が考え

ルとした情報

どのような取り組みを 質問 進めているか。 た観光消費について、 るが、食をツールとし 好の素材であると考え ために、三浦の食は絶 本年から、 観光振興を図る みうらレ

三浦の食と観光

取り組んでいる。

と報道されている。 かった市町村があった Jアラートが起動しな る自動放送がされたが

安心・安全な地域づく

ときの初期行動や、

三浦の食文化のPRに あらゆる機会を捉えて り、イベントのほか、 代表する観光資源であ

Jアラート、防災講座

消費の増加が考えられ 供ができれば、さらな る。観光協会や事業者 る回遊性の向上と観光 線とリンクした情報提 レンタサイクルの動

市民の生命を守る 機材の定期的な点検は しているのか。

消されている。 ふぐあいが生じた事例 市では以前、受信機 があるが、その後に解 を実施している。三浦 は、国が定期的に試験 総務部長 Jアラート

Jアラートの受信機

災害に備える 行政無線に関する機材 点検を実施している。 についても、定期的な 対となる三浦市の防災 また、Jアラートと

本の上空を通過した。 発射実験が行われ、

北朝鮮によるミサイル

質問 八月二十九日に

りのために、防災知識

は必要である。

を行っ 講座について、これま 契機に、避難勧告や災 の反応を伺いたい。 での実施内容や参加者 防災 の普及啓発 備え、気象情報 東日本大震災を ている市民防災

な方への配慮を要望す ン等の情報機器が苦手 広報において、パソコ けており、意見として おおむねよい評価を受 実施してきている。 などをテーマに講座を るものがあった。 は、防災情報の伝達や 参加した市民からは、

三浦市議会

三浦市議会の情報はホームページから

検索

動に取り組むよう話を や学年集会で説明を行 い、動揺せず日常の活

地域で支える体制づくり

災訓練が行われている

質問 市内各地区で防

情報を得て精査し、実自治体等からこれらの

実施に向けた検討

宿泊型の避難訓練、児童・生徒のケア

無所属

下田

ていると聞く。

お泊まり避難訓練をし が、他の自治体では、

> し、心のケアを図って トや教育相談等を実施

その上で、アンケー

昇

い、最優先に自分の命

目早目の

避難を行

て、子供たちの安全・

を守る行動をとること

化などの影響から全国

難勧告等の避難情報を 体制をとっており、避 必要な助言を得られる

[す判断をする際の参

直接連絡が来るなど、

いて気象予報官から

急激な気象の変化に

発し、甚大な被害が出 各地でゲリラ豪雨が多

考にしている。

をスムーズに伝達して なことは、適正な情報

この対策として重要

課題解決に向けて

見問 放課後児童クラ

(学童保育) におい

補助制度の活用につ

市民に身近な図書館に

就学援助、学習支援

日本共産党 むつみ

第 130 号

れ以外にも、夏休みの 張っている。 ら「みうらっ子ライブ 課題図書や行政資料コ ジに載っているが、そ 自に地域に密着して頑 る図書館では、昨年か 介など、利用者に身近 トの開催はホームペー トを開催するなど、独 ラリー」というイベン に感じてもらうために、 おはなし会やイベン 市内三カ所にあ 大活字本の紹 教育部長

れるよう取り組みたい。 図書館の魅力を伝えら 貸し出しだけではない 窓口カウンターでの情 図書館だよりの配布、 外にも広報紙の活用や ては、ホームページ以 てもらうため、図書の 報提供等を行っている。 に関するPR方法とし できるのではないか。 さまざまなことが発信 多くの市民に利用し 図書館事業

に合わない。 等をそろえる時期に間 るため、制服やかばん 請をして八月に受け取 援助のうち、 支給時期の見直し 今、多くの自治体が、

であり、 きるということが大事 時期に必要な援助がで に動いている。必要な 前年に支給できるよう も実施できるよう要望 ぜひ三浦市で

教育部長 けた検討を進めていき 本市でも早期実現に向 を収集しているので、 給時期等について情報 ている市での課題や支 既に実施し

他市では市もかかわ 本市で実施してい

貧困の連鎖

る子供の学習支援は、 支援法のメニューにあ 行われている。 議会の自主事業として

ろがあるようだが、今 って実施しているとこ 予定はあるか。

生活困窮者自立支援法 学習支援を発展させて 階では考えていない。 の任意事業として実施 祉協議会で行っている 保健福祉部長 社会福 していくことは、現段

たい。

学べる機会の保障を 生活困窮者自立

ているので、他市の取 支援の必要性は認識し を防止するための学習 組みを参考にしなが

整を行い、よりよい学 ら社会福祉協議会と調 習支援の方向性を検討 していきたい。

速やかな避難

たい。

意見を取り入れてい

イベント等の検討、

高齢者の事故

自由民主党

正雄



たい。 適合しているか、各ク

市でも活用してはどう が拡充されたが、三浦 改善等事業の補助制度 課後児童支援員等処遇 厚生労働省では、放

がつながっている。 四時間のホットライン 横浜地方気象台と二十

ら報告や相談を受けて 数の状況は各クラブか ホームページや広報紙 おり、市としては、 に指導員の募集記事を 保健福祉部長

指導員

た上で、検討していき ラブと協議・調整をし 況が制度活用の状況に いては、各クラブの状

市民生活を守る 市内の防犯灯は、

減災対策

学童保育、防犯灯の整備

公明党

応をお聞きしたい。

ずに、慢性的な指導員 だが、処遇改善が進ま 員の役割はとても重要 成を図るために、指導 安心を守り、健全な育

不足に陥っているクラ

ブもあると聞く。

三浦市での現在の対

総務部長三浦市では、

藤田

である。

-成二十七年度から四

灯具の向きが不適切な ものや、劣化により柱 型に更新されている。 が問題となっている。 が傾いているものなど 型防犯灯が残っており、 内各所に旧型の蛍光灯 千六百本余りがLED しかし、いまだに市

課題解決に向けて迅 含めて、更新、

LED型の防犯灯

録をお願いしたい。

者を迎えている。 を開催し、多くの来場 年さまざまなイベント 質問三浦市では、 今後は行政、 市民、 毎

速な対応を図り、 生活の安全・安心対 市

を積極的に進めていた

だきたい。

あり、調査等の実施を 安全・安心のかなめ ど早急に対応できるよ 市長防犯灯は地域

ひ防災情報メールの登 施設等の方々にも、 報をメールで送信する 報の正確な伝達を目指 応などの課題がある。 るが、電波の到達が困 の導入は有効だと考え 仕組みを整備している。 放送と同時に、緊急情 して、防災行政無線の 難な地域や停電への対 三浦市では、防災情



今年開催された「みうら夜市」

次の「みうらっ子ライブラリー」は11/3です

では、避難に関する情

討することを提案する 議会などを設置して検 ムになると考える。協 ることが重要なアイテ

かがか。

イベントの企画

プホーム、病院、幼稚

老人ホームやグル

で被害が発生している。 で大雨が増加し、各地

移住政

策などを協議す

近年の異常気象

企業が連携して、

トや三浦市への

園、保育園などの施設

開始までに時間がかか 報を入手してから避難

総務部長 戸別受信機の導入を進 めてはどうか。

けて、防災行政無線の

市が補助金制度を設

報の提供が重要になる。

め、より早く確実な情 ることが予想されるた

検討に

戸別受信機 んできている。

今後も、人材の掘り しなどを意識しな より多くの提案、

皆さんを中心に取り組 ら夜市などは、市民の り、白秋まつりやみう の意見や知識を取り入 れることが重要であ については、多く 視しながら、十分な検 市町村や国の動向を注 制度の取り組みを進め 支援が必要なのか、他 が、認知症の方を介護 る予定は持っていない て、どのような制度や しているご家族にとっ

えはどうか。 市長直ちに同じ保険

家族を支える制度を

質問 大和市では、認

があった。 を新設するという報道 が肩がわりをする制度 求められた場合に、 族が高額な損害賠償を 知症高齢者の事故で家 市

このような制度があ

ることは介護をしてい ると思うが、市長の考 る家族の心の支えにな

公共施設の管理

四万四千人を切ってし

真琴

過去に行ったアンケ

市営住宅のあり方、人口減少への対応

無所属 寺田

樹

年度までには個別施設 された。また、三十二 等総合管理計画が策定 長寿命化などを計画的 な視点で更新、統廃合、 に行うため、公共施設 全体について、長期的 活用される見込みの 画が策定される。 本市の公共施設

申し出があった場合に 制を検討してほしい。 定される三十二年度を ので、個別の計画が策 象にすべきだと考える ない市有地は売却の対 は、早急にその施設の 市長 具体的に売却の 待たずに売却できる体 ある。 定住促進策は

質問 総合計画

人だが、 定めた平成三十七年の みらい創生プラン」で 人口目標は四万千二百 「三浦

優先に、柔軟な対応を していきたい。 な方向となることを最 あると考える。 方向性を定める必要が 三浦市にとって有益

伴って、平成二年から 迎えており、老朽化に も既に法定耐用年数を る市営住宅は、いずれ 入居者の募集を停止し 新たな計画の策定 **寛**間 市内三カ所にあ

ŋ は、 今後の市営住宅の 方を示した計画書 いつごろを目途に

策定されるの 総務部長 現在、 南下

> ればならないと思うが、 メリットを発信しなけ らうには、それ以上の 挙げられた。住んでも 用が少ないことが多く 便なことや市内での雇 として、通勤通学に不 転出したいと思う理由 ートでは、三浦市から

行政の考えは。

計画を見直し、新た 今年度中には、既存

本年八月には

計画を策定する予定で 検討を進めている。 宅のあり方についても な市営住宅の個別施設 備とあわせて、市営住 の子育て賃貸住宅の整 浦市民センター用地で

という人は五九・三% いった理由が多かった。 ことや災害が少ないと で、自然が豊かである 三浦市に住み続けたい 市長アンケートでは、

すばらしいアイテムが

予定である。

と考えている。

り、今後の活用方法や

マにエントリーしてお バウンドの推進をテー

PR手法等を検討する

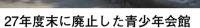
掲げた若年層の雇用拡 計画の重点施策として 少に対応していきたい。 大に取り組み、人口減 ルするとともに、総合 町であることをアピー 三浦市が住みやすい

駅弁をつくって観光振興を

年金に関する手続、障害者施設の整備

日本共産党

照美



と考えるが、どうか。 市長 京浜急行電鉄に に向けた施策を進めて 急と連携し、観光振興 案が市民からあった。 京急沿線の各駅で販売 用した駅弁をつくって、 いくことは有効である したらどうかという提 いる。三崎マグロを活 このような視点で京 まぐろきっぷを中

窓口での対応は 貸問 三浦市から最も

べき駅弁が販売されて 地域の顔とも言う

質問 JR沿線の駅で みを行っていただいて 適さない部分もあるが 急の車内での飲食には 増加など、着実に成果 おり、入込観光客数の みの参考としたい。 振興策の一つとして、 食をツールとした観光 を上げている。 心にさまざまな取り組 京急と連携した取り組 駅弁については、京

> 制度内容を説明すると 保健福祉部長 丁寧に

案内も行っている。 ともに、必要書類等を 記載箇所や記載方法の 確認し、手続が一度で からないという方には、 済むように案内を心が また、記載方法がわ

法人等が設置している

ウスは民間のNPO

体等からの要望もない

ことから、

現状では市

大変であり、市に相談 ために何度も行くのは

給資格期間が十年に短 に来る方もいると思う。 法改正で、年金の受 グループホームなどの 者の八割以上が自宅や 立した生活が可能な人 るが、親や施設から自 入居施設で暮らしてい 質問現在、 市の考えは 知的障害

えをお聞きしたい。 ムの整備について、考 緒に家族のように暮ら のある人もない人も一 る。こういったシェア すという取り組みがあ 保健福祉部長 シェア ハウスやグループホー シェアハウスで障害

うな対応をしているの うが、窓口ではどのよ 縮されており、該当者

も多い。

のサポートもあると思

かんだり

期間限定の三崎マグロ駅

けた各海水浴場の魅力 あると考えている。 まだまだ活用の余地が 市の考えを伺いたい。 案件もあると思うが、 法的な規制から難し スポーツの活用など、 といった新しいマリン ボードやシーカヤック 県主催の出前セミナ に、海岸の活用に向 海水浴場には、

の掘り起こしや、イン

みうら市政会 出口

人を呼べる魅力満載の 質問 三浦市の海には、 海水浴場の活用 放課後児童クラブ、二学期に向けて

すべきである。パドル っと年間を通して活用 活用できているが、も たくさんある。 海水浴場は、夏場は

ブは、 質問

各小学校区に設置を

放課後児童クラ 保護者が日中不

重要となるので、協議 賀市にあるが、手続の 護者会との合意形成が 近い年金事務所は横須

× ームの みはしていない。 一方で、グループホ 整備については、 '積極的な取り組

> 向けた検討を重ねたい。 必要性を十分理解して いるので、早期実現に

xexexexexexexex

にぎわう夏の海水浴場

なくてはならない施設 在となる家庭にとって、

学校での対

を進めたい。

別の小学校区まで通う 区に設置がない児童は 増設に向けた考えは。 ることが望ましいが、 小学校区ごとに設置す 全を確保するためには ことになる。 通学している小学校 児童の安

てしまう子がふえてい

ったり命を絶ったりし 定になり、不登校にな

したい

教育長 三浦市では、

供たちの心と体が不安

抱える児童・生徒がい

るのか。また、悩みを のような対応をしてい たって、各学校ではど

,期の始まりに当

た場合の対応をお聞き

質問 夏休み明けに子

ると報道等で取り上げ

特に二

一学期の始めに不

登校がふえるというよ

られている。

善の方法だと認識して 増設を進めていきたい 室の状況も踏まえて、 おり、小学校の余裕教 校に一施設の設置が最 保健福祉部長 一小学

ブの運営主体である保 そのためには、クラ

ている。 立って各学校が対応し ちがいるという前提に と体が不安定な子供た うな状況はないが、心 生徒を把握した場合は、 悩みを抱える児童・

等と連携をとり、学校 全体で対応している。 スクールカウンセラー

市民の安全対策の推進

みうら夜市、魅力ある学校づくり みうら市政会 神田

の知識、経験も必要だ するためには、専門家 民の安全対策を推進 災害等に関する

協議を進めているとこ 神奈川地方協力本部と 用を目指して、自衛隊 からの自衛官OBの雇 討を始めている。 度を活用した雇用の検 すると考えており、 ろである。 現在、平成三十年度 制

おもてなしの工夫 質問 八月十三日から

でこの制度を活用する 度を創設した。三浦市 交付税措置を講じる制 その経費について特別 治体が雇用した場合、 定を受けた者を地方自

浦市の防災力向上に資 応のプロの雇用は、 いわゆる災害対 ピタリティーの向上を 図るため、手づくり灯 くの方が利用し、一店 を拡大した。当日は多 スの設置をするエリア 籠の装飾と休憩スペー や消費額の向上、ホス きしたい。 市長 滞在時間の延長

理に関する専門性を有

国は、防災、危機管

する人材を認定し、認

増加したと聞いている。 舗当たりの売り上げも そのほかには、来場

くさんいるが、マンネ 開催された。ことしは リ化しないように工夫 るリピーターの方もた 天候に恵まれなかった 二日間、みうら夜市が した点があれば、お聞 毎年必ず来てくださ

をお聞きしたい。 て魅力ある場所である るためには、学校が子 に取り組んでいること にするために、重点的 ことが大切だと考える。 供たちや保護者にとっ てを魅力あるものにす 学校を魅力ある場所

取り組みを進めている。 を子供たちが楽しむた 行錯誤し、子供の心に めに、教職員が日々試 学旅行などの学校行事 教育部長 寄り添いながら毎日の 運動会や修

中学校卒業までの子育 重点的な取り組 小学校入学から

行こう週間の実施、 程を組むほか、学校へ しやすいように行事日 また、保護者が参加

っている。

者用トイレの拡充を行

日の様子を見てもらえ るなど、子供たちの毎

ッドデッキ

の

活 用

近の県道二百十五号の

江奈湾

県道の改良

拡幅工事が進められて

いる。これは毎年行っ

子育て賃貸住宅、道路整備

みうら市政会

早間

道治

ている要望活動の成果

了すれば渋滞緩和につ であり、拡幅工事が完

ながると考えている。

この県道の、宮川公

曜・日曜参観を多くす るよう取り組んでいる。



横須賀市消防局の指導による訓練の様子

が順調に増加している。 れたことで、来遊客数

今後、さらなる観光

用する公共施設が廃止 されることになる。 目標であり、市民が利 米から七万平米にする

個別施設の計

直樹

ては、市民と協議を重 画を策定するに当たっ うに考えているか。 必要だが、市はどのよ ね、合意を得ることが 総務部長 個別施設の 制度を実施すべきだが、 証拠だと言える。 市の考えは。 度に期待を寄せている 募が多いのは、この制

来年度も継続して本

公共施設の管理計画

住宅リフォーム助成、高齢者の安心

日本共産党 小林

見をいただく機会を絶 と考えている。 説明を行っていきたい えず設け、計画に反映 日ごろから情報開示や 計画策定に当たっては、 また、意見交換や意 市民の関心度、期待度 応募をいただいており、 本制度は、毎回多くの 市長 七年目を迎えた

質問 市の公共施設等

質問 六月に住宅リフ 考えている。 九千万円で、市内経済 工事費の総額は約一億 昨年度までに助成した の高さを感じている。 活性化、住環境の向

乱暴なやり方である。 延べ床面積を十二万平

制度の継続を

この方法は、

余りにも

減するとしているが、 施設の延べ床面積を縮 口減少に比例して公共 総合管理計画では、人

していきたい。

募集件数を超えた。応 第一期だけで今年度の 五十三件の応募があり、 、募集が行われたが、 ーム助成制度の第 考えていきたい。 実施について前向きに るためにも、 市民のニーズに応え 来年度の

についての指導等を行

緊急時の事故対応 安否確認や実態調

件を検証していく必要

しており、

対象者の

があると認識している。

っている。

本事業の対象に高齢

に登録されているか、

現在の対象者が十分

通報体制整備事業とし 緊急通報体制整備 て、 ②問本市では、緊急

> べきだと考えるが、 者のみの世帯も加える

者はどのような方かを また、優先すべき対象

とり暮らしの方を対象 六十五歳以上のひ

保健福祉部長

始から十年以上が経過 事業開

括支援センター等と情 報交換をしていきたい。 検証するため、地域包

個別施設計画策定は市民と協議を

長は、この計画につい 検討を進めており、市 て取り組んでいきたい て「スピード感を持っ 住宅の事業化に向けた 質問 事業化に向けて 市は子育て賃貸

と述べている。

ためには、「うらり」

二階にあるウッドデッ

ける予

定である。その

実施方針案を策

消費額の増加を見込む

どうか。

加えていただきたいが、 ぜひ新たな要望として

要になると考えるが、 キの利活用が非常に重

今後の予定を伺いたい。

めていく考えである。

公募条件もまと

いる。 ウッドデッキは、来遊 は、やさい館への動線 おり、外階段の整備後 客が自由に使えるくつ として有効に機能して ろぎスペースとなって 水産担当部長 現在、

> 庁内の うかと

関係部署が連携

組んでいきたい。 ピード感を持っ 間を費やす必要もあろ

思っているので、

地元との調整等に時

等をしていきたい となので、 検討しているというこ 事の完成に合わせて、 より積極的な利活用を 度実施する張りかえ工 海業公社では、今年 適切に助



今後の けた具 市長 サルから事業実施に向 てお聞きしたい。 のスケジュールについ ても重 に期待されるが、今後 (体的な提案を受 本年度中にコン 取り組みが大い 要な施策であり、 減少の対策とし

> までの区間の拡幅を、 園から城ヶ島の入り口

業し、外階段も整備さ マルシェやさい館が開 畜産物直売所のうらり 賞問 「うらり」に農

要望活動を推進してい 路線となっているので、 で緊急輸送道路の二次 路線は、市の防災計画 状況である。また、本 について打診している。 既に県には道路の改良 員が狭く、歩道もない 市長当該区間は、 今後、ぜひ積極的に

きたい。

「うらり」のウッドデッキ

旨

本陳情は、

地球社会建設希望決議

◎放課後児童クラブひまわりの施設移転につい

政の対応を求めています。し、③保育料の減免措置について、

し、③保育料の減免措置について、行付要綱の家賃等費用の補助限度額見直改善等事業の予算化、②市の補助金交

ての陳情書

趣

旨

本陳情は、

表題の方

事項について、

早

急な対応を求めています。

(7)

◎「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」 に関する陳情

地 球で生き続ける為の地球社会建設希望決議 旨 求めています。現を求める意見書を国に提出するよう して頂きたい陳情書 本陳情は、 全国森林環境税導入の実

◎消費税増税の撤回を求める意見書提出を求め る陳情 旨 議決を求めています。 本陳情は、消費税一〇%への 引き上

◎日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める陳 趣情 ことを求めています。

げ撤回を求める意見書を国に提出する

「薬害肝炎救済法の延長を求める意見書」 旨 めています。 を求める意見書を国に提出するよう求を求める意見書を国に提出するよう求 本陳情は、核兵器禁止条約への調印 の

趣 旨 本陳情は、 採択を求める陳情 提出することを求めています。 済のため、表題の意見書を関係機関 本陳情は、 薬害肝炎被害者の全面:

◎平成三十年度における「障害児者・透析者を ◎平成三十年度における「重度障害者医療費助 含む移動困難者に対する通院支援」 趣 旨 本陳情は、障害児者成制度継続」についての陳情 施策を行うことを求めています。 なく医療を受けられるよう、 本陳情は、障害児者・透析者が負担 配慮した

可決しを決議(概要)

よう求めています。 支援を含む医療・福祉助成施策を行う

の陳情

旨

本陳情は、移動困難者に対する通

北朝鮮の核実験に抗議する決議

去る9月3日、北朝鮮は核実験を実施したと発表した。

||趣|||6||||本陳情は、三浦市の放課後|||放課後児童クラブについての陳情書

本陳情は、三浦市の放課後児童クラ

ブに関し、

①放課後児童支援員等処遇

世界の平和と安定を求める国際的な世論に反して核実験を強行したこ とは、断じて許すことはできない。

本市は、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮を願い、「核兵器廃絶平和都 市」であることを宣言している。

よって、本市議会は、北朝鮮の核実験に対し強く抗議の意を表すとと もに、日本政府が国際社会と協調し、北朝鮮に対して全ての核兵器及び 核計画の放棄を求めるための措置をとることを強く求める。

〈提出先〉内閣総理大臣/外務大臣

固定資産評価員 星 野 拓 吉 氏

教育委員会委員 公平委員会委員 廣 大 井 瀬 牧 清 実 氏 氏

を任命・選任するため た。 意することに決しまし ずれも原案のとおり同 市長 議案が提出され、 から、 次の方々

効果が出ている。

常任委員会での陳情の審査結果

9月定例会では、新たに提出された陳情及び継続審査中の 陳情、あわせて34件を審査しました。

今回、審査を終えた陳情は、次のとおりです。

そのほかの25件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結 果				
	核兵器禁止条約締結の国連本会議で日本政 府が賛成するよう求める陳情書	取り下げ 承認				
総務経済	神奈川県最低賃金改定等についての陳情					
	地球で生き続ける為の地球社会建設希望決 議を、今、して頂きたい陳情書	審議未了				
	平成30年度における「重度障害者医療費助 成制度継続」についての陳情					
	平成30年度における「障害児者・透析者を 含む移動困難者に対する通院支援」につい ての陳情	了承できる もの				
都市厚生	放課後児童クラブについての陳情書					
	放課後児童クラブひまわりの施設移転につ いての陳情書					
	介護保険制度の見直しに対する陳情書					
	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書 の提出を求める陳情	審議未了				

議 お け る 討 論

平成28年度三浦市一般会計決算の認定について 議案第52号

賛成討論

公明党

藤

田

昇

大変厳しい財政状況の中、

歳入増加策

の行財政運営で、市民生活と営業を守る 無駄をなくし、公正で民主的な市民本位 状況が続いている。職員が一丸となり、

み、二十九年度中になし遂げることを期 き、実現に向けて不退転の覚悟で取り組 を出せなかったことは残念だが、引き続

ことを求めて反対する。

働で市内経済の活性化を図り、 さまざまな課題が山積しているが、三浦 振興の促進、そして人口減少問題など、 子育て支援に全力で取り組んできたこと 助成事業の対象年齢を引き上げるなど、 改修への補助を行ったほか、 の相談支援や、放課後児童クラブの施設 跡地や旧三崎中学校跡地の利活用、観光 は、一定の評価ができる。 二町谷埋立地への企業誘致、三崎高校 三浦市の創生を目指して官民協 「三浦みらい創生プラン」を 市民生活

向上が図られる市政運営を期待する。

ダイエット大作戦に取り組み、それぞれ に取り組み、歳出削減策としては、ごみ としては、昨年同様に市税等の徴収強化 また、二十八年度には、子育て世帯へ 小児医療費 等の子育て施策、うらりマルシェ開設に とは評価される。 よる地域の活性化等を行っている。 対象年齢引き上げや妊婦健康診査事業

がっており、大変評価するところである。 等の強化により、ここ数年、収入率は上 足の解消に向けて積極的に取り組んだこ る見直しを行い、職員一人一人が財源不 財政状況の中、財源対策検討委員会によ 歳入については、徴収業務や滞納処分 歳出においては、小児医療費助成事業

急緊縮財政宣言の継続がなされる厳しい 長引く景気低迷や人口減少が進み、緊

自由民主党 出 口 正 雄

が期待される。また、消防広域化事業に

学学用品費、

校外活動費が国基準の二分

の一であり、十分な援助ではない。新入

られたものの、支給額は学用品費、新入

就学援助制度は、支給基準が引き上

とになる。

当たり九十二万円もの借金をしているこ

た、市債残高は四百五億円で、市民一人

ごみ処理計画の推進や三崎漁港の活性化 生管理化対策事業では、本市の安定した 域化の最終処分場建設事業、市場高度衛

非常に厳しい財政状態が続いている。 財政力指数などの数値があらわすように

ま

金を活用した新たな事業を行ったことは、 ができたことは大きな成果である。 て・教育施策、国の地方創生加速化交付 みうらっ子育成寄附金をもとにした子育 伴う、消防庁舎建設により消防力の強化 小児医療費無料化対象年齢の引き上げや、 また、厳しい財政状況にもかかわらず、

支給するなど、制度を充実させ、全ての 学学用品費を入学準備金として前年度に

子供たちが安心して教育を受けられるよ

うにすることを求める。

三浦市の地域経済と市民生活は大変な

への企業誘致、土地の売却について結果

本市の最重要課題である二町谷埋立地

賛成討論 みうら市政会 二十八年度の政策である、ごみ処理広 草 間 道

治

反対討論

日本共産党

小

林 直

樹

二十八年度決算では、

経常収支比

ゃ

三浦市議会の情報はホームページから

夢や未来をサポートできるように、市長

よう、また、次の世代を担う子供たちの

容を精査して、よりよい市民生活になる

決算審査特別委員会の議論及び審査内

を初めとする行政には固い決意を持って

層努力されることを切に望む。

三浦市議会

検

十月十四日、

議

会

告

会

(8)

議会を傍聴しませんか

平成29年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会 議 名 等
11月28日	火	招集告示
30日	木	議会運営委員会(日程・審議方法等決定)
12月 5 日	火	本会議 (一般質問)
6 日	水	本会議 (一般質問)
7 日	木	本会議 (一般質問)
8日	金	総務経済常任委員会
11日	月	都市厚生常任委員会
15日	金	本会議(委員長報告・採決)

※請願・陳情の提出期限は11月29日(水)です。

◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されていますので、自由に傍聴 することができます。

傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、傍聴人受付簿に住所、 氏名、年齢を記入してください。

◆お問い合わせは議会事務局へ 電話 046-882-1111 内線462・463

)初声地区 平成二十八年度決算につ 共通テーマ て応援団、 十月十四日

国際ソロプチミスト三 婦人の会三浦支部、はっぴ 「子育て」について (潮風アリーナ 子育てサークル $\widehat{\pm}$ 午後一 浦、 一時 研修室) 新日 ·子育



本

打ち合わせの様子



リハーサル

と会場ごとのテーマを決めて実施し を市内三会場で開催しました。 今年は、子育てや観光にかかわる 青少年を対象とし、共通テーマ 十五日に議会報告 開催日時、 参加人数は次 会場別 三浦市観光協会、みうら 十月十五 市内中高生及び青少年 二十三人 観光振興」について 日

のとおりです。

テーマ、参加対象者、

各地区の会場、

各会場で出された質疑・意見等 ンティアガイド協会 二十五 南下浦地区(南下浦市民センター 次号の三浦市議会だより及び三 $\widehat{\mathbb{H}}$ 午後 観光 人

三崎 十月十五日 「夢をかたる」について 地区 (三浦市役 (日) 午後 所 議場) 時

本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】

第47号 平成28年度三浦市病院事業会計決算の認定について

第48号 平成28年度三浦市水道事業会計利益の処分及び決算の認定に ついて

第51号 三浦市空家等対策協議会条例

第55号 平成28年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について

第56号 平成28年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について

第62号 平成29年度三浦市一般会計補正予算 (第3号)

第63号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

浦市議会ホームページに掲載します。

第64号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

第65号 固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて

【決議案】

第1号 北朝鮮の核実験に抗議する決議

/替不が分かれた議安\ ○韓成 ●反対

番号		審議結果	みうら市政会					日本共産党			公明党	自由民主党	無所属		
	件名		岩野	長島満理子	神田	出口	草間	布川	石橋む	小林	藤田	出口	下田	木村	寺田
			匡 史	理 子	真弓	真琴	道治	照美	つみ	直樹	昇	正雄	剛	謙蔵	樹
【議案】 第52号	平成28年度三浦市一般会計決算の認定について	原案認定		0	0	0	0	•	•	•	0	0	0	•	0
第53号	平成28年度三浦市国民健康保険事業特別会 計決算の認定について	"		0	0	0	0	•	•	•	0	0	\circ	0	0
第54号	平成28年度三浦市後期高齢者医療事業特別 会計決算の認定について	"		0	0	0	0	•	•	•	0	0	\circ	0	0
第57号	平成28年度三浦市公共下水道事業特別会計 決算の認定について	"	* 1	0	0	0	0	•	•	•	0	0	\bigcirc	\circ	0
第58号	平成28年度三浦市第三セクター等改革推進 債償還事業特別会計決算の認定について	"	× 1	0	0	0	0	•	•	•	0	0	\bigcirc	\circ	0
第59号	平成29年度三浦市一般会計補正予算(第 2 号)	原案可決		0	0	0	0	•	•	•	0	0	\bigcirc	\circ	0
第60号	平成29年度三浦市介護保険事業特別会計補 正予算(第1号)	"		0	0	0	0	•	•	•	0	0	\circ	0	0
第61号	平成29年度三浦市公共下水道事業特別会計 補正予算(第1号)	"		0	0	0	0	•	•	•	0	0	0	0	0

議長は表決に加わらない



皆さん頑張っていきま 崎・また行きたい三崎 される三崎・楽しめる 量」の境地です。 感無量、いや「感慨無 ているだけに、下町に 能いたしました。 から洋画等、幅広く堪 いを握りしめ、時代劇 館が三軒もあり、小遣 と言われる町になる様、 っともっと皆様方に愛 人がギッシリの光景は 二崎・自然が一杯の三 また、下町には映画 観光に力を入れ、も 全盛期の三崎を知っ

非常に活気に溢れてい 良いアナウンスがあり、 時に、地方から家族と のでしょうね。 たいと思ってくださる 任居を移しました。 になって、また来てみ 物があればリピーター 緒に魚市場の近くに 私は小学校一年生の 朝四時頃から威勢の

ギッシリという感じ。 散策なされる方を多く る訳ではなく、下町を が随分増えました。 見かけます。 もなりますと、観光客 小さい地域ですので、 イベント等に来られ お目当ての場所や品 三浦の土日や連休と

編集委員コラム